

# 成果目標 1 安全で安心な暮らしを支える国土形成への寄与

## 1 山崩れ等の復旧と予防

成果指標① 約 58,100 集落 → 約 60,500 集落

山地災害危険地区のうち人家等の保全すべき対象の周辺に存する保安林等に指定された地区において、一定の治山対策を実施することにより、周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の数を約58,100集落から約60,500集落に増加させます。

### 山腹工による森林の復旧・再生



崩壊発生



施工直後



施工後約10年

#### ※目標値の算出の考え方

全国森林計画に掲げる「治山事業施行地区数」を達成した場合に保全される集落の数を推計したもの。その際、集落の再編・消滅などの社会的情勢の変化を考慮して目標値を算定している。

## 2 飛砂害、風害、潮害等の防備

成果指標② 延長約9千km

海岸防災林や防風林等の延長約9千kmについて、特に津波等に対する防災機能の発揮の観点から森林を整備・保全することなどにより、近接する市街地、工場や農地等を飛砂害や風害、潮害等から保全します。



#### ※目標値の算出の考え方

気象害等により機能低下した海岸防災林等の復旧・整備等による既存の海岸防災林等の適切な保全とともに、特に津波等に対する防災機能の発揮が必要な森林を保全することを目標としている。